



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 45 No. 2
April 2020**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース

Contents

日本毒性学会からのお知らせ

社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い	13
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第3報）	14
第47回日本毒性学会学術年会のご案内（第5報）	17
第46回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	21

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い

一般社団法人 日本毒性学会
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように「社員総会」を、以下の要領で学術年会期間中に開催いたします。ご承知のとおり、本学会は2014年（平成26年）5月1日に一般社団法人となり、重要な案件は社員総会で決定されます。社員（一般会員及び学生会員）各位におかれましては、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

また、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、電磁的総会出欠（委任状）回答システムにより事前にご提出下さい。なお、本委任状回答システムへの入力のご案内は2020年4月以降にメール等にてご連絡させていただく予定です。

記

2020年度 一般社団法人日本毒性学会 社員総会
日 時：2020年6月30日（火）13時30分～15時10分
場 所：第47回日本毒性学会学術年会 第1会場（仙台国際センター 大ホール）
議 案：1. 2019年度事業報告および収支決算
2. 2020年度事業計画および収支予算
3. その他

以上

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すことになります。社員総会に欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、社員総会へのご参加または委任状の提出をお勧めくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年2月
一般社団法人日本毒性学会
理事長 熊谷 嘉人

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第3報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会として、幅広い領域にまたがるトキシコロジーに関する基礎知識を体系的に集中学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての多領域にわたる知識をブラッシュアップしながら新たな技術、課題などをインプットする生涯教育講習会を開催いたします。

「第21回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます（2020年度はSOT開催が急遽中止となったため、派遣報告は無しとなります）。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日 時

2020年6月28日（日）

2. 会 場

仙台国際ホール

3. プログラム

- 1) 特別教育講演 10:40～11:30
林多恵先生
(一般財団法人化学物質評価研究機構)
「SDS, PDE/ADI, OELとトキシコロジスト(仮)」

- 2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー：
“運動器（筋）/骨格”

- 2) - 1 11:30～12:20
寶来 直人 先生（新日本科学）
「非臨床基礎評価」(仮)

(昼休憩 12:20～13:30)

- 2) - 2 13:30～14:20
瀬川 博子 先生（徳島大学大学院医歯薬学研究所）
「環境トピック (仮)」

- 2) - 3 14:20～15:20
松尾 沙織里 先生（中外製薬）
「病理 (仮)」

4. 参加申込および参加費

- 1) 申込期間
2020年3月9日（月）～5月15日（金）
- 2) 申込方法
当学会ホームページよりお申込下さい。
登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。
- 3) 納入方法
ホームページよりお申込の上、下記銀行口座へお振込み下さい。
銀行：みずほ銀行
支店：麴町支店（021）
口座番号：普通 1348658
口座名義：一般社団法人日本毒性学会
*振込手数料はご負担ください。
*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名（会員の方は会員番号）、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

4) 参加費

事前申込	
会員	5,000 円
非会員	7,000 円
認定トキシコロジスト	3,000 円
当日申込	
会員	7,000 円
非会員	10,000 円
認定トキシコロジスト	5,000 円

- * 受講料はお申込みから 5 日以内にお振込み下さい。
- * 領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。
- * 準備の都合上、できるだけ事前申込をお願いします。
- * キャンセルに伴う返金に関しては、セミナー資料事前送付前に限り、対応します。事務局から資料送付後は納入済み受講料の返金は原則として致いたしませんのでご了承下さい。詳細は別途事務局までお問い合わせください。

5. 問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内
TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555
E-mail: jsotq@jsot.jp

第 23 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時

2020 年 9 月 27 日 (日) / 予備日 10 月 3 日 (日)
台風等の自然災害により 9 月 27 日に試験開催が困難であると判断した場合に、予備日に実施します。なお、試験開催を延期する場合には、2 日前(9 月 25 日 17 時)までに受験者へご連絡いたします。

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス

3. 受験料

30,000 円

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2000 年, 2005 年, 2015 年, 認定トキシコロジストに認定された方(認定トキシコロジスト No. 171 ~ 194, 304 ~ 325, 457 ~ 480, 577 ~ 627) は 2020 年が資格更新の時期となります。更新手続きの詳細は、希望対象者宛に 2020 年 7 月頃に郵送いたしますのでご確認ください。

毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は 6 月上旬、締め切りは 8 月中旬を予定しています。なお、可能な限り、2018 年 5 月発刊の「第 3 版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他、詳細につきましては、2020 年 6 月にご案内いたします。

「日本毒性学会認定トキシコロジスト総会」

6 月に仙台国際センターで開催予定の第 47 回日本毒性学会学術年會会期中に、認定トキシコロジストおよび名誉トキシコロジストを対象とした認定トキシコロジスト総会を企画しております。総会には多くの先生方が参加されますので、今後の毒性学の方向性、研究等様々な意見交換の場として有効利用していただければと考えております。認定トキシコロジスト、名誉トキシコロジストの先生方の積極的なご参加をお待ちしております。

1. 日 時

2020 年 6 月 29 日 (月)
19:00 ~ 21:00 (18:30 より受付開始)

第47回日本毒性学会学術年会のご案内（第5報）

（年会ホームページ：<http://jsot2020.jp/>）

1. 会期

2020年6月29日（月）～7月1日（水）

この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学術年会の開催については慎重に検討を進めておりますが、現時点では、予定通り開催する準備を進めております。

今後の感染拡大等に従い、開催方針や方法が変更になる場合は、ホームページ等にて速やかにお知らせいたします。ご参加予定の皆様にはご心配等をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2. 会場

仙台国際センター
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
TEL：022-265-2211（代表）
URL：<http://www.aobayama.jp/>

3. テーマ

“One Toxicology” ワントキシコロジー
－毒性学の知性をすべての生命のために－

4. 年会長

広瀬 明彦（国立医薬品食品衛生研究所）

5. 企画委員（敬称略・五十音順）

石田 誠一（国立医薬品食品衛生研究所）
石塚真由美（北海道大学）
小椋 康光（千葉大学）
小野 竜一（国立医薬品食品衛生研究所）
鍛冶 利幸（東京理科大学）
菅野 純（日本バイオアッセイ研究センター）
小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所）
古武弥一郎（広島大学）
佐能 正剛（広島大学）
澤 智裕（熊本大学）
渋谷 淳（東京農工大学）
鈴木 睦（協和キリン（株））
種村健太郎（東北大学）
西田 基宏（自然科学研究機構）
黄 基旭（東北大学）
福井 英夫（アクセリード（株））
福島 民雄（塩野義製薬（株））
古川 賢（日産化学（株））
堀井 郁夫（ファイザー）

本田 大士（花王（株））
増村 健一（国立医薬品食品衛生研究所）
松下 幸平（国立医薬品食品衛生研究所）
松本 清（武田薬品工業（株））
三島 雅之（中外製薬（株））
宮脇 出（大日本住友製薬（株））
森 和彦（第一三共（株））
山田 久陽（大正製薬（株））
横井 毅（名古屋大学）
吉成 浩一（静岡県立大学）

6. 特別企画（予定、敬称略、仮題、順不同）

1) 第18回市民公開セミナー

テーマ：「化学物質に囲まれた現代生活、その安心と安全性を考える」

日時：2020年6月28日（日）11：00～12：30
会場：せんだいメディアテーク

2) 年会長招待講演

“International Advances in Tiered Assessment for Combined Exposures: Incorporating Novel Assessment Methods”
Mary E. Meek
(McLaughlin Centre, University of Ottawa, Canada)

3) 特別講演

- (1) 「ストックホルム条約の目的と残留性有機汚染物質（POPs）指定の手順」
北野 大（秋草学園短期大学）
- (2) “PFAS”
Christopher P. Weis
(National Institutes of Health/NIEHS, USA)
- (3) “Preclinical Safety Assessments of Gene Therapy Products”
Michael W Bolt
(Pfizer, Drug Safety Research and Development, Cambridge, USA)
- (4) “Exposome Research: Strategies to Use Complex Toxicologic Exposure Histories to Improve Mechanistic Understanding of Disease”
Dean P. Jones
(Department of Medicine, Emory University, USA)

- (5) “Exposure to Metals and Health Effects in Korean General Population”
Jung-Duck Park
(Department of Preventive Medicine, College of Medicine, Chung-Ang University, Korea)
- (6) 「ヒト集団における毒性学」
渡辺 知保 (国立環境研究所)

4) 教育講演

“Cellular Adaptation in Toxicology”
Curtis D. Klaassen
(Department of Pharmacology and Toxicology, University of Kansas, USA)

5) シンポジウム (32 セッション)

- ・iPS 心筋細胞を活用した心毒性研究の最前線
 - ・抗がん剤による肺毒性のリスク・マネジメント評価戦略
 - ・医薬品開発の初期段階で実施される *in vitro* スクリーニング試験は薬物性肝障害 (DILI) を回避する化合物を選択できたか?
 - ・日本薬理学会合同シンポジウム: 化学物質の神経毒性評価の現状と課題
 - ・低用量 / 低濃度暴露による発達神経毒性評価系の国際標準化に伴う課題と対応
 - ・*In vivo* mutagenesis の検出手法の進歩と今後のリスク評価への活用
 - ・生殖発生毒性に関する新展開
 - ・胎盤の機能と生殖発生毒性
 - ・ヒトにおける薬物動態を考慮した新規 *in silico/in vitro/in vivo* 毒性評価モデルの構築と将来展望
 - ・基礎発生学と先天異常学から学ぶ毒性エピジェネティクス
 - ・毒性オミクスにおけるエピジェネティクス解析及び人工知能の活用と精度管理
 - ・医薬品における新しい Computational Toxicology の展開: Ontology 思考下でのシステム構築
 - ・自然毒の生体応答と分子作用機構
 - ・硫黄代謝研究の最前線が切り拓く毒性学
 - ・リキッドバイオプシーの最前線
 - ・新規工学的手法と薬剤安全性研究の融合
 - ・非臨床安全性試験における 3Rs とは
 - ・MEASURE: ヒト細胞加工製品の造腫瘍性関連試験のバリデーションと国際標準化を目指した官民共同研究
 - ・再生医療等製品の安全性評価
 - ・がん免疫療法の毒性とその非臨床研究
 - ・ゲノム編集技術とその安全性
 - ・メチル水銀毒性発現機序の解明に向けた挑戦
- ・バイオジェニックナノ粒子形成機構とその毒性学的意義
 - ・新しい非臨床試験評価技術構築のための非臨床試験データ電子化へ向けたチャレンジ
 - ・レドックストキシコロジーの潮流: 若手研究者が語り合う現在と未来
 - ・医薬品・食品・化粧品のヒトでの安全性確保を目指した評価法に対する若手研究者からの提案
 - ・日本中毒学会合同シンポジウム: 海産毒 リビジテッド 2.0
 - ・米国毒性学会合同シンポジウム: ビックデータの毒性研究・評価への活用
 - ・日本毒性病理学会合同シンポジウム: 毒性病理学会からのトピック - 多様化するモダリティー評価における毒性病理学 -
 - ・次世代研究セミナー: 異分野の革新的研究に学ぶ毒性学の新たな可能性
 - ・食品リスク評価研究への新規評価技術の展開
 - ・生体模倣システムと臨床予測への道: 毒性学と薬物動態学, 工学の融合
- 6) ワークショップ (7 セッション)
- ・生体イメージング技術を利用した安全性評価への新たな挑戦
 - ・医薬品安全性から見たターゲットプロファイリングの最新の話と戦略事例
 - ・次世代型中分子ペプチド医薬品の品質及び安全性確保のための規制要件に関する研究 (AMED 非臨床試験研究班中間報告)
 - ・重金属のシグナルトキシコロジー
 - ・*In silico* 暴露解析最前線: ヒトと環境
 - ・医薬品製造現場における交叉汚染防止のために, 改正 GMP 省令に期待すること
 - ・The application and integration of novel safety strategies to influence better decision-making in early drug discovery
- 7) トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム
- ・トキシコロジストを透視する: 外から見た期待

7. 一般演題

- 1) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演発表につきましては, 発表と討論の時間を合わせて 10 ~ 15 分程度を予定しています。詳細は, 演題申込数を考慮の上, 4 月中旬に主発表者へ E-mail にてお知らせいたします。発表方法は PC プレゼンテーション (プロジェクター 1 面映写) のみです。ポスター発表は, 毎日貼替えてポスター展示を行い, 展示時間内に質疑応答時間を設けます。

2) 優秀研究発表賞応募演題

2020年3月31日時点で35歳以下の方を対象とします。

応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表と質疑応答を第1日目(6月29日(月))に行ってください。受賞者の発表は、第2日目(6月30日(火))に行います。授賞式は、懇親会(受賞者本人は無料招待)において行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

3) 学生ポスター発表賞応募演題

学術年会(2020年6月29日(月))の時点で学生(大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く)のポスター発表(筆頭著者)の方を対象とします。

審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第1日目(6月29日(月))に掲示し、受賞者の発表は、第2日目(6月30日(火))に行います。授賞式は、懇親会(受賞者本人は無料招待)において行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

なお、今回応募者には、学術年会発表時のポスター原稿を、電子媒体として発表の1週間前にご提出いただき、事前審査を行います(e-ポスターによる事前審査)。ご了承下さい。詳細は年会ホームページにてご案内いたします。

8. 参加登録および参加費

事前参加申込締切日:

2020年5月15日(金) ※延長なし

事前参加登録(早期)を延長しました。詳しくは年会ホームページをご覧ください。

事前参加登録はインターネットを利用したオンライン登録となります。お一人につき1回のみとさせていただきますので、登録内容に誤りがないようご注意ください。

1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税(消費税込)」となります。

カテゴリー	事前参加登録	当日参加登録 ^{*2}
会員	12,000円	16,000円
学生会員	3,000円	5,000円
関連学会会員 ^{*1}	13,000円	17,000円
非会員	15,000円	19,000円
懇親会費(一般)	10,000円	12,000円
懇親会費(学生)	4,000円	5,000円

*1 次の学会会員の方です。(50音順)

- 共催: 日本中毒学会
日本毒性病理学会
日本免疫毒性学会
日本薬理学会
米国SOT (Society of Toxicology)
- 協賛: 日本安全性薬理研究会
日本医薬品情報学会
日本衛生学会
日本環境変異原学会
日本産業衛生学会
日本実験動物学会
日本獣医学会
日本食品衛生学会
日本食品化学学会
日本先天異常学会
日本動物実験代替法学会
環境ホルモン学会(日本内分泌攪乱化学物質学会)
日本薬学会
日本薬物動態学会
韓国毒性学会

*2 当日参加登録の場合は、原則として、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)決済での支払いでお願いします。(学生等でクレジットカードを未所持の場合のみ現金で受付けます。)

2) お支払い方法(事前参加登録の場合)

- ・クレジットカード
 - ・コンビニエンスストア
- ※決済等の詳細については、年会ホームページをご確認下さい。
- ※年会参加費には、下記が含まれます。
- ・年会参加証(領収証付)
 - ・年会プログラム要旨集(PDF)(冊子体は希望者のみ会期中に配布いたします。事前送付の予定はございませんのでご注意ください。)

※懇親会費には、下記が含まれます。
・懇親会参加証（領収証付）

9. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2020年6月30日（火）18：30～（予定）

場所：ホテルメトロポリタン仙台

<https://sendai.metropolitan.jp/>

10. 展示、ランチョンセミナーなどの募集

展示、ランチョンセミナー、広告掲載を募集しております。詳細については年会ホームページをご覧ください。

11. 託児所

会場内に託児室を設ける予定です。詳細は追って年会ホームページにてご案内いたします。

12. 年会事務局

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部

事務局長：山田 隆志

事務局次長：井上 薫

TEL：044-270-6688 FAX：044-270-6703

E-mail：secretariat@jsot2020.jp

第 46 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 46 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 46 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsotq@jsot.jp

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男記念賞（学術貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

新しい発見を 変わらない品質で

私たち日本クレアは、生命のあらゆる可能性を探求し発展させる基盤として、動物愛護のグローバルな視点に立った世界最高品質の実験動物を提供して参ります。



マウス・ラット

● Closed Colony

- マウス** Jcl:ICR
ラット Jcl:SD, Jcl:Wistar
Br/Han:WIST@Jcl(GALAS)

● MCH (Multi Cross Hybrid)

- マウス** MCH(ICR)/Jcl

● Inbred

- マウス** C3H/HeNjcl, C3H/HeJcl*¹
C57BL/6Njcl, C57BL/6Jcl*¹
BALB/cAjcl, BALB/cByJcl*¹
FVB/Njcl, DBA/2Jcl*¹, 129*^{Ter}/Svjcl
ラット F344/Jcl

● 疾患モデル

免疫不全モデル

- マウス** BALB/cAjcl-*nu*
C.B-17/Icr-*scid* Jcl
NOD/Shijic-*scid* Jcl
ALY[®]/Nscjcl-*aly**²
ラット F344/Njcl-*rnu*

1型糖尿病モデル

- マウス** NOD/Shijcl

2型糖尿病モデル

- マウス** KK/Tajcl, KK-A^y/Tajcl
BKS.Cg-*m*+/*Lepr*^{db}/Jcl*¹
ラット GK/Jcl, SDT/Jcl, SDT fatty/Jcl

アスコルビン酸合成能欠如モデル

- ラット** ODS/Shijcl-*od*

● 疾患モデル

網膜変性疾患モデル

- ラット** RCS/Jcl-*rdy*

関節リウマチモデル

- マウス** SKG/Jcl

外用保湿剤・外用殺菌消毒薬効果検証モデル

- マウス** NOA/Jcl*²

● 遺伝子改変動物

短期発ガン性試験モデル

- マウス** CByB6F1-Tg (HRAS)2Jic

乳腺がん高感受性モデルラット

- ラット** Hras128/Jcl*³

睪がん高感受性短期発ガンモデルラット

- ラット** Kras301/Jcl*³

生体恒常性維持機構解析モデル

- マウス** *α*-Klotho KO/Jcl*²

- マウス** *klotho*/Jcl*³

アレルギーモデル

- マウス** OVA-IgE/Jcl (卵アレルギー)*²
TNP-IgE/Jcl (化学物質アレルギー)*²

● Hybrid

- マウス** B6C3F1/Jcl, B6D2F1/Jcl

● Germfree

- マウス** MCH(ICR)/Jcl[Gf], C57BL/6Njcl[Gf]
BALB/cAjcl[Gf]

その他の取り扱い動物

● (公財) 実験動物中央研究所維持系統

● サル類

- マーモセット Jcl:C.Marmoset(jic) (国内生産)

実験動物用飼料

一般動物用飼料 / 家畜・家禽試験用飼料 / 放射線滅菌飼料 / 特殊実験用配合飼料 / 成分分析

器具・器材

飼育ケージ / 飼育機・ラック / 自動飼育システム / クリーンエアシステム / バイオハザード対策システム / 空調設備 / 排水処理システム / 管理・実験機器 / 施設計画コンサルティング

受託業務

微生物学的クリーニング / 遺伝子改変マウスの作製 / モノクローナル抗体作製 / 受精卵採取・凍結処理 / 凍結受精卵の供給 / 系統維持及び生産 / 各種処置動物作出 / マイクロバイオーム研究のサポート / 各種受託試験 他

関連業務

動物輸出入 / 微生物モニタリング / 遺伝モニタリング / 各種データ / 情報サービス

業務提携

Physiogenex社(仏): 代謝性疾患領域に特化した薬効薬理試験受託サービス
(株)ジーピーシー研究所: イメージングマウスの作製サービス

*1 *This substrain is at least (a number>20 by definition) generations removed from the originating JAX® Mice strain and has NOT been re-infused with pedigreed stock from The Jackson Laboratory.
*2 凍結受精卵による維持 *3 維持系統につき、原則、余剰動物からの出荷



www.CLEA-Japan.com

東京 A D 部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7050(代)
大阪 A D 部	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7101(代)
【動物・飼料のご注文先: AD受注センター TEL.03-5704-7123】		
東京器材部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7600(代)
大阪器材部	〒564-9953 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7105(代)
札幌出張所	〒063-0849 札幌市西区八軒九条西10-4-28	TEL.011-631-2725(代)
仙台出張所	〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目30-24	TEL.022-352-4417(代)

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

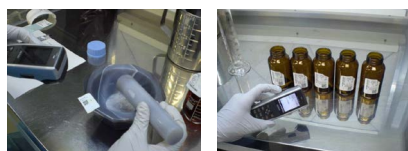
グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International (国際実験動物ケア評価認証協会) 認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応 (CDISC SEND)
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



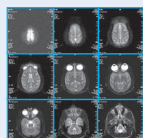
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- MRI



Siemens Allegra 3.0T



カニクイザル
頭部
(T2WI)

- デジタルPCR



QX200 AutoDG

- 超高感度
イムノアッセイ



SMC×PRO

お問い合わせ先

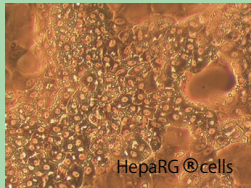
株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140





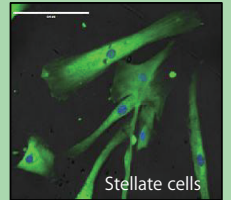
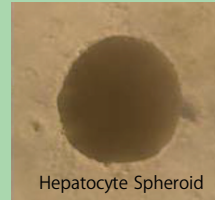
HepaRG®・初代肝細胞

- HepaRG® 凍結バイアル
- HepaRG® 増殖培養キット
- HepaRG® プレート播種タイプ
- CYP3A4G/7R HepaRG®
 - CYP3A4の発現を緑色蛍光で検出可能
 - 鳥取大学が開発 (WO2014061829A1; 薬物代謝酵素誘導および細胞毒性の評価方法、ならびにそのためのベクターおよび細胞)

- ヒト凍結肝細胞
 - 接着 / 非接着 / スフェロイド培養用
- アニマル凍結肝細胞
 - 動物種：マウス、ラット、イヌ、サル
- ヒト凍結非実質肝細胞、星細胞等
- ヒト非凍結肝細胞 (プレート播種タイプ)

受託試験

- 薬物相互作用評価試験
- 肝毒性評価試験
- 腎毒性評価試験



ヒトiPS細胞由来 心筋/神経/肝細胞

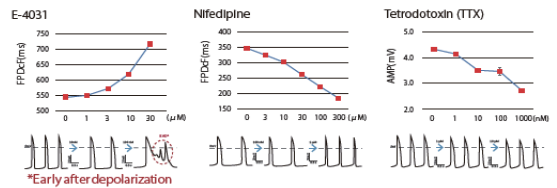
- 細胞毒性評価
- 薬物のスクリーニング
- 肝代謝研究
- 3D培養
- Lab-on-a-Chip など

ヒトiPS細胞から誘導された心筋細胞、神経細胞および肝細胞で、ロット間差が少なく、ヒト細胞に近い機能を有します。細胞と培地および添加剤がセットになっていますので、簡便にご使用いただけます。



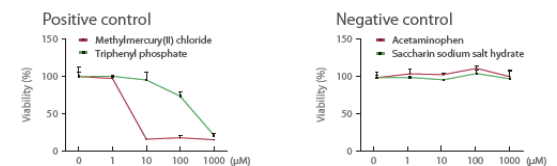
01 Cardiosight-S®

Toxicity test



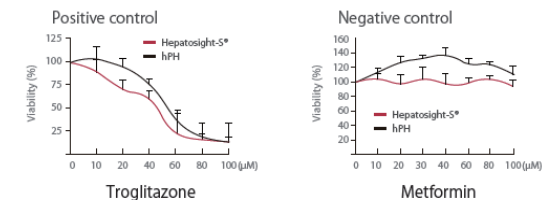
02 Neurosight-S®

Toxicity test



03 Hepatosight-S®

Toxicity test



細胞、組織、微生物株、培養試薬、研究用試薬等を取り扱っております。



株式会社 **ケーエーシー**

<お問い合わせ先>
TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748
E-mail:shiyaku-info@kacnet.co.jp

会社HP: <http://www.kacnet.co.jp/>
細胞検索サイト「細胞.jp」: <http://www.saibou.jp/>

細胞.jp 製品の在庫・価格等を検索可能!

SLCの実験動物



マウス

●アウトブリード

Slc: ddY

NC/S

Slc: ICR

●インブリード

DBA/1JmsSlc(コラーゲン誘導関節炎)

BALB/cCrSlc

C57BL/6NCrSlc・C57BL/6JmsSlc

C3H/HeSlc

DBA/2CrSlc

NZW/NSlsc

A/JmsSlc

AKR/NSlsc

NC/NgaSlc(薬物・アレルゲン誘導アトピー性皮膚炎)

CBA/NSlsc

C3H/HeNSlsc

C3H/HeYokSlc

●B10コンジュニク

129x1/SvJmsSlc

C57BL/10SnSlc

B10.A/SgSnSlc・B10.BR/SgSnSlc

B10.D2/nSnSlc・B10.MBR/Slc

B10.0BR/SxSlc・B10.S/SgSlc

●ハイブリッド

B6D2F1/Slc(Slc:BDF1)

CB6F1/Slc(Slc:CBF1)

CD2F1/Slc(Slc:CDF1)

B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)

●ヌードマウス(ミュタント系)

BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1nu*)

KSN/Slc(*Foxn1nu*)

●疾患モデル

BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)

C3H/HeJmsSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas1^{gld}*)

C3H/HeJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas1^{lpr}*)

C57BL/6JSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas1^{gld}*)

C57BL/6JmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas1^{lpr}*)

MRL/MpJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas1^{lpr}*)

NZB/NSlsc(自己免疫疾患)

* NZBWF1/Slc(自己免疫疾患)

CTS/Shi(免疫不全・白内障)

* WBB6F1/Kiit-Kiit^W/Kiit^W/Slc(肥満細胞欠損血・Kiit^W/Kiit^W)

* WBB6F1/Kiit-Kiit^W/Kiit^W/Slc(肥満細胞欠損血・Kiit^W/Kiit^W)

NC/Nga(皮膚炎)

☆ Hos:HR-1(ヘアレスマウス)

☆ HRM2(メラニン保有ヘアレスマウス)

SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫・SAM系対照動物)

SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)

SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)

SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)

SAMP10/TaSlc(脳萎縮を伴う学習・記憶障害)

AKITA/Slc(糖尿病)

☆ TSOD(2型糖尿病)

C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)

☆ C57BLKS/Jlar-*Lepr^{ob}*+*Lepr^{ob}*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)

☆ NSY/Hos(2型糖尿病)

C57BL/6JHamSlc-A¹/+(肥満)

HIGA/NscSlc(IgA腎症)

C.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)

B6.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)

A.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)

AK.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)

(NZW × BXSB)/F1/Slc(血小板減少性紫斑病)

C57BL/6HamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)

LEW/SsNSlsc(薬物誘導性関節炎)

ACI/NSlsc

PVG/SeaSlc

●疾患モデル

SHR/Izm(高血圧)

SHRSP/Izm(脳卒中)

WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)

SHRSP5/Dmcr(NASHモデル)

DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)

DIR/EisSlc(食塩抵抗性)

DahlS.Z-*Lepr^{ob}*/Slc

KDP(1型糖尿病-*Cblb*)

GK/Slc(2型糖尿病)

WBN/KobSlc(高血糖好発)

WBN/KobSlc-*fa/fa*(高血糖好発-*Lepr^{ob}*)

SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lepr^{ob}*)

SHRSP/IDmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lepr^{ob}*)

Slc:Zucker-*fa/fa*(肥満-*Lepr^{ob}*)

☆ Hos:ZFDM-*Lepr^{ob}*(糖尿・肥満)

HWY/Slc(ヘアレスラット)

F344/NSlsc-*Apc^{mt/mt}*(大腸癌易誘発)

EHBR/EisSlc(高ビリルビン血症)

Gunn/Slc-*jjj*(高ビリルビン血症)

●アウトブリード モルモット

Slc: Hartley

Hos: Weiser-Maples(メラニン保有)

●インブリード モルモット

* Strain2/Slc

* Strain13/Slc

●アウトブリードウサギ

Slc: JW/CSK

Slc: NZW

* Slc: JWF-NIBS(ヘアレス)

●ハムスター

Slc: Syrian

* J2N-k(心筋症モデル)

* J2N-n(J2N-kのコントロール)

●スナネズミ

MON/Jms/GbsSlc

無菌動物

F344/NSlsc[GF]

遺伝子改変動物

●マウス

C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)

C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpt* delta)

●ヌードマウス

C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)

●ラット

SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)

F344/NSlsc-Tg(*gpt* delta)

Slc:WistarHannover/Rcc-Tg(*gpt* delta)

conventional動物

●ビーグル犬

☆国内繁殖生産(一財)動物繁殖研究所)

●カニクイザル

☆ベトナム繁殖生産サル(VANNY)

●ミニブタ

☆国内繁殖生産

((一財)日生研-NPO法人医用ミニブタ研究所)

●マイクロミニブタ

☆国内繁殖生産(富士マイクラ)

●フェレット

国内繁殖生産(中伊豆支所)

*印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。



日本エス エル シー株式会社
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8
TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)
関西エリア (053)486-3157(代)
九州エリア (0942)41-1656(代)

一般社団法人 日本毒性学会

【名誉会員】

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人	榎本 眞
小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫	黒川 雄二
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄	上野 光一	山添 康	

【功労会員】

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	田中 悟	大沢 基保	今井 清
降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明	飯家 公夫
暮部 勝	野村 護	牧 栄二	三森 国敏
佐神 文郎	遠山 千春	小野寺博志	杉本 哲朗
西田 信之			

【賛助会員】

(五十音順)

●ダイヤモンド
 (株)新日本科学

●ゴールド

旭化成ファーマ(株)	あすか製薬(株)
アステラス製薬(株)	(株)安評センター
EAファーマ(株)	(株)イナリサーチ
エーザイ(株)	(株)LSIメディアエンス
大塚製薬(株)	小野薬品工業(株)
花王(株)	一般財団法人化学物質評価研究機構
杏林製薬(株)	協和キリン(株)
興和(株)	三栄源エフ・エフ・アイ(株)
(株)三和化学研究所	塩野義製薬(株)
(株)資生堂	シミックファーマサイエンス(株)
昭和電工(株)	住友化学(株)
(一財)生物科学安全研究所	ゼリア新薬工業(株)
千寿製薬(株)	第一三共(株)
大正製薬(株)	大日本住友製薬(株)
大鵬薬品工業(株)	武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)	中外製薬(株)
帝人ファーマ(株)	(株)DIMS 医科学研究所
トアエエイヨー(株)	東レ(株)
(一社)日本化学工業協会	日本香料工業会
日本新薬(株)	ファイザー(株)
富士フイルム(株)	(株)ボゾリサーチセンター
Meiji Seika ファルマ(株)	持田製薬(株)
(株)薬物安全性試験センター	ライオン(株)

【役員】(2018～2019年度)

理事長	熊谷 嘉人	小川久美子	小椋 康光
理事	青木 豊彦	菅野 純	北嶋 聡
	鍛冶 利幸	鈴木 睦	高崎 渉
	小林 章男	苗代 一郎	永沼 章
	角崎 英志	福井 英夫	藤原 泰之
	広瀬 明彦	宮脇 出	山田 久陽
	三浦 伸彦		
	吉成 浩一		
監事	中村 和市		
	姫野誠一郎		

【学術年会長】

第47回 (2020年) 広瀬 明彦
 第48回 (2021年) 福井 英夫
 第49回 (2022年) 石塚真由美

【委員会】(2018～2019年度)

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

●総務委員会
 広瀬 明彦 (委員長)
 青木 豊彦 小椋 康光 鍛冶 利幸
 熊谷 嘉人 鈴木 睦 永沼 章

◆連携小委員会
 菅野 純 (委員長)
 小川久美子 北嶋 聡 中村 和市
 広瀬 明彦 山田 久陽
 佐藤 雅彦 (委員長)
 小林 章男 苗代 一郎 藤原 泰之
 三浦 伸彦
 広瀬 明彦 (委員長)
 (委員非公開)

◆名誉会員および功労会員
 選考小委員会

◆指針値検討小委員会
 広瀬 明彦 (委員長)
 市原 学 北嶋 聡 渋谷 淳
 古川 賢 三島 雅之
 青木 豊彦 (委員長)
 小川久美子 福井 英夫 藤原 泰之
 鍛冶 利幸 (委員長)
 古武 弥一郎 (副委員長)
 青木 康展 阿部(富澤)香織 有蘭 幸司
 石井 祐次 市原 学 佐藤 雅彦
 渋谷 淳 新開 泰弘 神野 透人
 鈴木 雅実 角 大悟 曾根 秀子
 立花 研 中川 一平 中西 剛
 永沼 章 中村 和市 沼澤 聡
 根本 清光 黄 基旭 福島 民雄
 藤原 泰之 三浦 伸彦 務台 衛
 山田 久陽 山手 丈至 山本 千夏
 吉成 浩一 鰐淵 英機
 鍛冶 利幸 (委員長)
 永沼 章 (委員長)
 永沼 章 (委員長)
 藤原 泰之 (副委員長以下非公開)

●財務委員会

●編集委員会
 ◆JTS 編集委員会
 ◆FTS 編集委員会
 ◆Executive Editor 小委員会
 ◆田邊賞選考小委員会

●教育委員会
 ◆生涯教育小委員会

◆基礎講習会小委員会
 高崎 渉 (委員長)
 橋本 清弘 (副委員長)
 朝倉 省二 大塚 まき 小野寺博志
 古川 賢 和久井 信 (委員長)
 (副委員長以下非公開)

◆認定試験小委員会

●学術広報委員会
 ◆学会賞等選考小委員会
 ◆佐藤哲男記念賞選考小委員会
 ◆特別賞等選考小委員会

◆技術賞選考小委員会
 清水 俊敦 (委員長)
 (委員非公開)

◆日化協 LRI 賞選考小委員会
 北嶋 聡 (委員長)
 (委員非公開)

◆学術小委員会
 山田 久陽 (委員長)
 天野 幸紀 石塚真由美 高崎 渉
 高橋 祐次 藤原 泰之 吉成 浩一
 久田 茂 (委員長)
 児玉 晃孝 (副委員長)
 橋本 愛

★その他関連の委員会
 ○IUTOX Executive Committee, Director 熊谷 嘉人
 ○IUTOX Nominating Committee, Chair 菅野 純
 ○ASIATOX 担当 佐藤 雅彦

2020年 4月1日 印刷

2020年 4月1日 発行

発行人 熊谷 嘉人

編集人 鍛冶 利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsothq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161